



2023年11月6日

各位

会社名 JUKI株式会社
代表者名 代表取締役会長CEO兼COO 清原 晃
(コード番号 6440 東証プライム市場)
問合せ先 コーポレートオフィサー 南 大造
財務経理部長
(TEL. 042-357-2211)

通期連結業績予想の修正及び配当予想の修正に関するお知らせ

当社は最近の業績動向を踏まえ、2023年2月9日に公表しました2023年12月期(2023年1月1日～2023年12月31日)の業績予想及び期末配当予想について、下記のとおり修正することとしましたのでお知らせします。

記

1. 当期の連結業績予想数値の修正(2023年1月1日～2023年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 127,000	百万円 3,500	百万円 3,000	百万円 1,900	円 銭 64.74
今回修正予想 (B)	96,000	△ 2,300	△ 2,800	△ 4,300	△ 146.52
増減額 (B-A)	△ 31,000	△ 5,800	△ 5,800	△ 6,200	—
増減率 (%)	△ 24.4	—	—	—	—
(ご参考)前期実績 (2022年12月期)	117,454	2,858	1,163	△ 78	△ 2.66

(修正の理由)

当第3四半期連結累計期間につきましては、世界的なインフレや資源高による諸コストの高騰、中国経済の回復遅延等の状況下、特に最大市場である中国、東南アジアにおいて縫製工場や電子部品製造受託工場の投資の具体化が遅れており、売上が大幅に減少しました。利益面では物流・生産コスト削減、工場再編・拠点人員削減等コスト構造改革にも着手し効果を刈り取りつつありますが、当初想定以上の売上の減少、工場稼働率の低下等により、当初予想対比減益で推移しております。また、コスト構造改革による特別退職金等特別損失を計上しました。

第4四半期は、現在推進中の付加価値構造改革を加速し、付加価値の高い分野のポートフォリオ改善を図るとともに、コスト構造改革を更に深掘りし固定費の抜本的な削減を徹底することにより、売上・利益の早期挽回を図ってまいります。

以上の業績動向を踏まえ、2023年12月期通期の連結業績予想につきましては、売上高960億円、営業損失△23億円、経常損失△28億円、親会社株主に帰属する当期純損失は△43億円へ修正いたしました。

なお、第4四半期の為替レートは1米ドル=140円を前提としております。

2. 配当予想の修正について

	年間配当金		
	第2四半期末	期末	合計
前回予想 (2023年2月6日発表)	円 銭 0.00	円 銭 25.00	円 銭 25.00
今回修正予想	—	15.00	15.00
当期実績	0.00	—	—
前期実績(2022年12月期)	0.00	20.00	20.00

(修正の理由)

期末配当につきまして、1株につき25円を予想しておりましたが、上記の通期連結業績予想を踏まえて、誠に遺憾ながら1株につき15円の配当に修正させていただきます。

株主の皆様には、深くお詫び申し上げますとともに、付加価値構造改革、コスト構造改革を抜本的に推し進めることで、業績の早期回復に向け経営努力を重ねてまいりますので、何卒ご理解賜りますようお願い申し上げます。

3. 役員報酬の減額について

今回の業績・配当予想の修正に鑑み、会長、社長をはじめ役員執行役員、幹部職(コーポレートオフィサー)、理事の2023年10月より3月までの月額報酬の減額および2023年冬季賞与の全額返上または減額支給といたします。

4. 現中期計画の見直しについて

現在取り組んでいる中期経営計画(2023-2025)については、来年度以降の市場環境の動向を見極め、かつ構造改革の効果を組み入れて後日修正の上発表する予定です。

※ 上記の予想は、現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

以上